

平成 30 年度事業報告書

自 平成 30 年 4 月 1 日
至 平成 31 年 3 月 31 日

I 教育研究助成事業

1 研究助成

(幅広い分野の独創的・先駆的な研究に対して必要な研究経費の助成)

No.	所属機関名	所属 学年・氏名	研究課題名	助成額
1	鶴岡工業高等専門学校	生産システム工学専攻 1年 日下部 太星	頭部の随意動作によるハンズフリー操作型電動車椅子の実用化研究	200,000 円
2	長岡工業高等専門学校	物質工学専攻 2年 三上 和也	ナノ微細構造を持つ有機顔料色素の活性酸素による退色反応機構に関する研究	200,000 円
3	米子工業高等専門学校	物質工学専攻 1年 山田 知宏	テトラエチルアンモニウム p-トルエンスルホナートを活用した電解反応におけるリグニンの効率的分解反応の開発	200,000 円
4	松江工業高等専門学校	生産・建設システム工学専攻 1年 水田 裕貴	畜産排水を対象とした水処理装置内の微生物同定と多様性解析	200,000 円
5	新居浜工業高等専門学校	生産工学専攻 1年 岸田 里保	白色LEDへの応用を目指した新規白色蛍光ガラスの作製と各種特性評価	200,000 円
6	北九州工業高等専門学校	生産デザイン工学専攻 1年 野元 聖矢	ビスマス系複合酸化物微粒子の調製とキャラクタリゼーション	200,000 円
7	都城工業高等専門学校	物質工学専攻 1年 蔵下 はづき	長岡市「大口レンコン」栽培圃場の線虫害防除を目指したBacillus属細菌の寄生性線虫防除機構の解明	200,000 円
8	鹿児島工業高等専門学校	機械・電子システム工学専攻 2年 日高 輝	銀を用いたフレキシブルな多層型透明導電膜に関する研究	200,000 円
9	東京都立産業技術高等専門学校	創造工学専攻 2年 須田 優駿	デトネーション管内を伝播する燃焼波の圧力上昇及び伝播速度分布計測用コンビネーションプローブの開発	200,000 円
10	神戸市立工業高等専門学校	電気電子工学専攻 2年 安田 匠	GaN パワーデバイスの高周波動作を活かした超小型高昇圧比絶	200,000 円

			縁 DC-DC コンバータの開発	
--	--	--	------------------	--

2 海外市場探究奨学金
(海外における産業、社会を積極的に探究する学生への奨励助成)

No.	所属・氏名	テーマ	渡航先	奨学金額
1	長岡技術科学大学 生物機能工学課程 内山 玄太郎	シンガポールで普及している日本製品の現状と今後について	シンガポール	60,000 円
2	長岡技術科学大学 機械創造工学課程 伊藤 萌乃芽	シドニーにおける日系企業の進出および今後の展望	オーストラリア	60,000 円
3	長岡技術科学大学 機械創造工学課程 宮川 知也	IT産業が盛んなインドにおける電子機器の調査	インド	60,000 円
4	長岡技術科学大学 電気電子情報工学課程 久野 裕由	海を渡った日本食の変化	オーストラリア	60,000 円
5	長岡技術科学大学 機械創造工学課程 齋藤 尚人	タイにおける経済状況と今後の見込み	タイ	60,000 円
6	長岡技術科学大学 機械創造工学課程 上村 海	世界のIT産業における現在のインドの立ち位置と今後の発展について	インド	60,000 円
7	長岡技術科学大学 機械創造工学課程 皆川 泰輝	タイの食品衛生に関する調査	タイ	60,000 円

また、平成 30 年度海外実務訓練予定者を対象として、平成 30 年 7 月 14 日（土）に、平成 29 年度海外市場探究奨学金助成者 7 名による成果報告会を実施した。

II 産学地域連携交流事業

1 産学地域連携事業支援

(1)長岡技術科学大学主催による講演会を後援した。

①「マルチスケールロボットシステムとその未来」

- ・開催期日：平成 30 年 7 月 13 日（金）
- ・開催場所：長岡技術科学大学
- ・講師：福田 敏男 氏〔名城大学理工学部・北京理工大学 教授〕

②「土木工学実践講座－エクセレントエンジニアへの道－

Civil Engineering Practice – For an excellent engineer –」

- ・開催期日：平成 30 年 8 月 2 日（木）
- ・開催場所：長岡技術科学大学
- ・講師：渡辺 泰充 氏〔ベトナム国ホーチミン市都市鉄道 CP 1 a 工区 施工監理
コンストラクションマネージャー〕

③「理系学生、技術者・研究者に必要な特許工学入門」

- ・開催期日：平成 30 年 9 月 18 日（火）
- ・開催場所：長岡技術科学大学
- ・講師：谷川 英和 氏〔IRD 国際特許事務所 所長・弁理士〕

④「学生時代に学んで欲しい安全衛生の基礎」

- ・開催期日：平成 30 年 9 月 25 日（火）
- ・開催場所：長岡技術科学大学
- ・講師：南保 昌孝 氏〔中央労働災害防止協会 技術支援部長〕

⑤「未来の海外勤務に備えて、今から始めたい 3 つのこと／日本的経営の独自性とベトナム的経営の特殊性 ～世界で通用する日本的経営と日本人材を目指して～」

- ・開催期日：平成 30 年 10 月 31 日（水）
- ・開催場所：長岡技術科学大学
- ・講 師：八谷 賢次 氏〔IMTC マネジメント教育&コンサルティング
代表取締役社長〕

(2) 長岡技術科学大学主催による技術開発センタープロジェクト成果報告会「知の実践」を後援した。

- ・開催期日：平成 30 年 7 月 6 日（金）
- ・開催場所：長岡技術科学大学
 - ・プロジェクト①
発表者：小林 正利 氏〔㈱福田組 技術部 環境技術課 担当課長〕
 - ・プロジェクト②
発表者：藤田 昌一 氏〔㈱東京設計事務所 特任理事〕
学生発表：石川 隆世 氏〔環境社会基盤工学専攻 2 年〕
 - ・プロジェクト③
発表者：中村 淳 氏〔中部キレスト(株) 四日市工場 研究部 研究一課長〕
学生発表：中村 陽平 氏〔物質材料工学専攻 2 年〕
 - ・プロジェクト④
発表者：長山 智男 氏〔㈱リコー 研究開発本部 A P T 研究所
材料技術開発センター 副所長〕
学生発表：佐々木 啓登 氏〔物質材料工学専攻 2 年〕
- ・参加者：78 人

2 先端技術・施設見学会の実施

(1)施設見学会を実施した。

- ①・実施期日：平成 30 年 10 月 25 日（木）
 - ・見学先：・魚沼の里・ゆきぐに温泉マンガー（南魚沼市）
 - ・参加者：10 人
- ②・実施期日：平成 30 年 12 月 12 日（水）
 - ・見学先：首都圏外郭放水路（埼玉県春日部市）
 - ・参加者：27 人

3 産学地域交流会の実施

(1)技術開発懇談会を長岡技術科学大学との共催により実施した。

- ① 「新潟県自慢の資源を生活密着型の新資源に変換する途は無いのか？」
 - ・開催期日：平成 30 年 10 月 14 日（日）
 - ・開催場所：道の駅クロステン十日町
 - ・講 師：岡崎 正和 氏〔長岡技術科学大学 機械創造工学専攻 教授〕
 - ・聴 講 者：47 人
- ②・開催期日：平成 30 年 11 月 7 日（水）
 - ・開催場所：直江津学びの交流館
 - ・内 容：1. 「AI と IoT による生産性向上（この日本で生き抜くために）」
講師：田辺 郁男 氏〔長岡技術科学大学 機械創造工学専攻 教授〕
 - 2. 「AI で生産性を向上させよう！」
講師：野中 尋史 氏〔長岡技術科学大学 情報・経営システム工学専攻 講師〕
 - 3. 情報提供「にいがた産業創造機構の研究開発支援」
講師：（公財）にいがた産業創造機構
 - ・聴 講 者：54 人
- ③ 「生産性の向上について考える」
 - ・開催期日：平成 30 年 11 月 15 日（木）
 - ・開催場所：南魚沼市図書館
 - ・内 容：1. 「生産性向上について考える」
講師：田辺 郁男 氏〔長岡技術科学大学 機械創造工学専攻 教授〕
 - 2. 「生産性向上に役立つ、近くの大学と IT 企業
～産学コラボで新しい価値を生み出そう！」

講師：横山 淳 氏〔新潟大学 地域創生推進機構 産学官連携リサーチ
コーディネーター〕

3. 「生産量確保のためのグローバル展開とITへの取り組み」

講師：池田 明 氏〔㈱オーヒラ 取締役部長〕

4. 「NICOの研究開発支援」

講師：(公財)にいがた産業創造機構

・聴講者：42人

④ 開催期日：平成30年12月11日(火)

・開催場所：まちなかキャンパス長岡

・内容：1. 「ものづくりと安全づくり」

講師：芳司 俊郎 氏〔長岡技術科学大学 システム安全専攻 准教授〕

2. 情報提供「にいがた産業創造機構の研究開発支援」

講師：(公財)にいがた産業創造機構(NICO) 産業創造グループ産学連携チーム

・聴講者：33人

⑤ 「ものづくりと安全づくり」

・開催期日：平成31年2月21日(木)

・開催場所：見附市 イングリッシュガーデンホテル レアント

・講師：芳司 俊郎 氏〔長岡技術科学大学 システム安全専攻 准教授〕

・聴講者：66人

(2)企業・学生交流会を実施した。

・開催期日：平成31年3月4日(月)

・開催場所：長岡技術科学大学

・参加者：企業50人・学生40人

4 地域社会向け研究成果等活用事業の実施

長岡技術科学大学と連携して、同大学がもつ財産(研究成果、専門的知識、施設、卓越した人材)を積極的に地域社会に活用してもらうため、企業や市民のニーズによる講師派遣や、講座・出前教室等を開催することで、大学と地域住民の交流を深め、さらには人材育成、地域社会の活性化に貢献することを目的に、大学の施設を活用した水泳教室と大学教員の専門的知識を活用したスキー教室、来年度から本格的に実施予定のヨット講座のための乗員訓練・乗船体験会を実施した。

※ 水泳教室は、小学生を対象とし、春季、夏休み、秋季と3回にわたり実施。

春季は、4~7月(10回と20回コース)、参加者は179人。

夏休みは7~9月(6回と12回コース)、参加者は199人。

秋季は、9~11月(8回と16回コース)、参加者は181人。

指導は、経験と実績をもつ外部講師及び長岡技術科学大学の体育担当教員、サポートとして長岡技術科学大学の水泳部員があたった。

スキー教室は、小学生を対象とし、1~2月に2回(6日間)で計画したが、小雪によりスキー場が開かず、2月に2日間のみ実施し、参加者は17人。

指導は、経験と実績をもつ外部講師及び長岡技術科学大学の体育担当教員があたった。

ヨットの乗員訓練は6~11月に10回実施した。

III 同窓会事務請負事業

収益事業として、長岡技術科学大学同窓会の事務の一部を請け負った。

IV その他

財団の活動や事業案内を載せた情報発信紙「かわらばん」(年5回)を発行し、県内6金融機関、市内スーパー等に配布(配列)した。

附属明細書

事業における重要な事項は平成 30 年度事業報告書に記載されており、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第 34 条第 3 項に規定する「事業報告の内容を補足する重要な事項」は特にないため、当年度の附属明細書は作成しない。